

令和7年度に新規追加する事業は2事業とする。

No.41 佐世保港 交通・周遊観光の拠点整備

1 事業概要

- 海と陸の交通の結節点である佐世保港三浦地区生活航路エリアのターミナル再編による、住民や観光客の利便性向上。
- 宿泊施設の誘致による、滞在時間の延長、圏域内の周遊促進。
- 宿泊施設にはバンケット機能を有することにより、コンベンションの取込を行う。

2 効果

交流人口等の拡大、圏域内の周遊促進による地域経済の活性化

◆広域連携事業における拠点整備の考え方について

それぞれの連携市町が持つ特徴的な都市機能を連携事業として掲げ、様々なネットワークで繋ぐことなどによって、相互にその機能を補完し高めながら、互いに便益を共有し圏域全体の魅力を向上させていくことで、圏域全体の経済循環と豊かに暮らせる圏域づくりを目指すもの



◇本事業における特徴的な都市機能

- 航路、鉄道、バスのターミナル機能を有するほか、佐世保みなとインターチェンジにも隣接する交通の結節点、二次交通へつなげるハブ機能の強化
- 滞在時間の延長、圏域内の周遊促進、コンベンションの取込を可能とする都市ブランドを向上させる宿泊施設

役割2

高次の都市機能の集積・強化

施策 2-1 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

令和7年度追加事業

NO 41

佐世保港 交通・周遊観光の拠点整備

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和6年度)	目標値(令和10年度)
事業進捗率	—	65% ※R10 ホテル立地予定

(事業概要)

- 海と陸の交通の結節点である佐世保港三浦地区生活航路エリアのターミナル再編による、住民や観光客の利便性向上。
- 宿泊施設の誘致による、滞在時間の延長、圏域内の周遊促進。
- 宿泊施設にはバンケット機能を有することにより、コンベンションの取込を行う。

順い創出

佐世保港三浦地区

関係市町

航路利用者

利便性向上

・周遊観光の促進
・滞在時間の延長など

関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12

連携による効果

交流人口等の拡大、圏域内の周遊促進による地域経済の活性化

事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計
	—	107,280	395,000	1,000,000	1,188,000	2,690,280

国及び県補助制度等

—

役割分担

佐世保市	圏域全体の交流人口の拡大に資する拠点整備等を推進する。
関係市町	中心市の取組に対して必要な協力をを行う。

1

西九州させば広域都市圏第2期ビジョンへの新規追加事業について

連携事業「佐世保港 交通・周遊観光の拠点整備」について

「佐世保港 交通・周遊観光の拠点整備」についても、特徴的都市機能として位置付けることにより、圏域全体の活力を向上させていくという考えに基づいている。



本事業の圏域における効果

- ターミナル整備及び離島等からの「玄関口」としてターミナル周辺が整備されることによる本市宇久島及び構成市町である西海市や新上五島町、小値賀町の住民や観光客の利便性向上
- 一般的なビジネスホテルではなく、都市ブランドの向上を図るホテルの誘致による、ハウステンボスからの周遊、さらには広域圏への波及
- バンケット機能を有したホテルが立地することによるコンベンションの取り込み

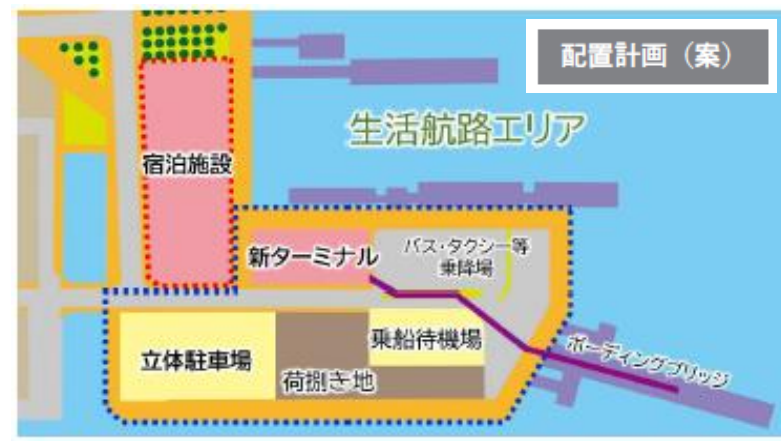
佐世保駅周辺地域は、航路、鉄道、バスのターミナル機能を有するほか、佐世保みなとインターチェンジにも隣接するなど交通の結節点である。

今回の整備により、圏域内外からの来訪者の当該地域への滞在を促すことに加え、本地域の二次交通につなげるハブ機能により構成市町への送客を促進する。

ハウステンボスとしても地域との連携が不可欠であると認識されており、今後、広域都市圏協議会との積極的なかわりについてもお願いする(3月28日協議会において、ハウステンボス経営陣との意見交換会実施)

西九州させば広域都市圏第2期ビジョンへの新規追加事業について

●事業概要



課題

- 施設の老朽化・利用者動線の輻輳（土地利用の機能混在）
- 三浦地区全体の交流空間としての魅力向上（中心部におけるシティホテル・バンケット機能不足）



- 港湾施設用地** 港湾施設の機能的な配置再編を実施
- 宿泊施設用地** 2つのターミナル機能を新ターミナルに集約
バンケット機能を有したホテルの公募

●全体事業スケジュール

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
方針決定	★ ※関係者協議							
新ターミナル		基本設計	実施設計		建築工事			
仮設ターミナル		設計	建設		仮設ターミナル運用			
解体工事		解体設計	新みTB 解体工事			鯨瀬TB解体工事		
ホテル公募		公募	ホテル設計	ホテル建築工事		R11.1ホテル開業想定		
立体駐車場		基本設計	実施設計		建築工事			
荷捌き地等			シーサイドパーク解体			荷捌き地整備	ロータリー整備	
浮栈橋		設計		整備工事				
ボーディングブリッジ						設計	建築工事	

No.42 学校司書の資質向上

1 事業概要

- 関係市町の学校司書に対し、佐世保市が開催する研修の一部を共有し、研修の機会を増やす。

2 効果

圏域全体の学校司書の資質向上

3 備考

第2期ビジョン策定時のパブリックコメントにおけるご意見から事業化につながったもの

●ご意見

佐々町は町内に1名しか学校司書がおらず研修ができない。
佐世保市の研修会に参加することができれば、子どもたちの読書活動の活発化につながるのではないかと。

◆住民の生活関連機能サービスの底上げに関する事業について

圏域全体の生活関連機能サービスの底上げにつながる事業をこれまで着実に実施してきており、例えば、主に佐世保市が実施する医療・福祉・教育分野などの研修に連携市町からもご参加いただいている

職員への研修機会の拡大や広域での情報交換を行うなど、圏域全体の職員等の資質向上により住民サービスの向上を図るものであり、連携市町からの評価も高いものとなっている

役割3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

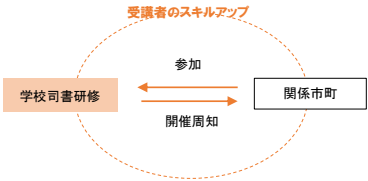
令和7年度追加事業

NO 42 学校司書の資質向上

KPI（重要業績評価指標）		
	現状値(令和6年度)	目標値(令和10年度)
受講者の研修目標達成率	—	100%

（事業概要）

- 関係市町の学校司書に対し、佐世保市が開催する研修の一部を共有し、研修の機会を増やす。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●		●	●	●			●		●	●	8
連携による 効果	圏域全体の学校司書の資質向上												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)		2026 (R8)		2027 (R9)		2028 (R10)		合計			
	—	56		56		56		56		224			
国及び県補 助制度等	—												
役割分担	佐世保市	研修の企画及び運営を行う。 (案内状の送付・研修会場の確保及び資料印刷など)											
	関係市町	自市町における受講希望者の確認などを行う。											

西九州させば広域都市圏第2期ビジョンへの新規追加事業について

各役割の下に、以下のとおりそれぞれ位置づけることとする。(連携事業番号としては、番号ズレを起こさないよう№41、42として追加する)

役割	No.	連携事業
ア 圏域 経済 成長 の けん 引	1	西九州させば広域都市圏ビジョン懇談会等運営
	2	創業支援の連携
	3	農水産物等特産品販路拡大
	4	共同物産展の開催
	5	広域連携による周遊観光の推進
	6	自治体新電力を活用したGX事業の構築
	7	圏域内企業の認知度向上
イ 高 次 の 都 市 機 能 の 集 積 ・ 強 化	8	高度な交流拠点整備の検討
	41	佐世保港 交通・周遊観光の拠点整備
	9	佐世保市・佐々町地域公共交通活性化
	10	世界遺産の保全活用
	11	伊万里港ポートセールスの推進
	12	海洋エネルギーの推進
	13	アルベルゴ・ディフーゾ(分散型ホテル)推進
	14	佐世保市中央公園の利用促進

役割	分野	No.	連携事業
ウ 圏 域 全 体 の 生 活 関 連 機 能 サ ー ビ ス の 向 上	地域医療	15	地域医療の確保に関する取組
	介護	16	在宅医療・介護連携推進
	福祉	17	障がい福祉サービスの充実
		18	療育機能の改善
		19	病児・病後児保育室の利用に関する連携
		20	幼児教育センターのサービス提供
		21	ファミリー・サポート・センターの充実
	教育・文化・スポーツ	22	図書館相互レベルアップ(研修・講習会の共同開催)
		23	図書館相互利用サービス
		24	少年科学館事業・理科学習支援
		25	サテライトあすなろ教室(教育支援教室)運営
		26	中心市文化芸術プログラムの広域連携
		27	スポーツ施設相互利用検討
		42	学校司書の資質向上
	地域振興	28	栽培漁業の広域連携
		29	赤潮監視装置設置
	災害対策	30	災害時における相互応援体制の確立
		31	防災行政に関する情報の共有及び職員の資質向上
	環境	32	圏域内のエコライフ推進(「させばエコラボ」環境啓発ツールの広域展開)
		33	ごみの広域処理に関する研究
	地域内外の住民との交流・移住促進	34	広域圏サポーターの拡大
		35	移住・定住連携窓口の広域圏活用
		36	離島地域の移住・観光における広域連携の研究
	人材の育成	37	男女共同参画啓発
	圏域内市町村の職員等の交流	38	人事交流制度による職員のスキルアップ・意識醸成
		39	教職員研修の共有連携(教育センター研修の活用)
	圏域マネジメント能力の強化	40	公民連携プラットフォームの形成